

別記様式（第2条関係）

瑞穂市上下水道事業審議会会議録

審議会等の名称	平成20年度第6回 瑞穂市上下水道事業審議会
開催日時	平成21年2月23日（水曜日） 午後1時30分 から 1時50分
開催場所	瑞穂市役所巢南庁舎1階公室
議題	(1) 答申書提出
出席委員 欠席委員	出席委員 鈴木会長、河合副会長、棚橋委員、熊谷委員、 小寺委員、西岡委員、馬淵委員、棚瀬委員、 二重谷委員、古川委員、豊田委員（11名） 欠席委員 堀委員、平田委員、細川委員（3名）
事務局	河合環境水道部長、弘岡下水道課長、下水道課 職員（梶浦、工藤、坂井田）
説明員	早瀬企画財政課長
公開の可否 （非公開理由）	公開
傍聴人数	0人
審議の概要	<ul style="list-style-type: none">・ 第5回会議録の確認・ 答申書提出
事務局（担当課）	瑞穂市 環境水道部 下水道課 TEL 058-327-2114 FAX 058-327-2127 e-mail gesui@city.mizuho.lg.jp

平成20年度 第6回瑞穂市上下水道事業審議会 会議録

日 時 平成21年2月23日(月) 午後1時30分～午後1時50分

場 所 市役所巢南庁舎1階公室

出席委員 会長 鈴木 治 副会長 河合 和義
棚橋 敏明 熊谷 祐子
小寺 徹 西岡 一成
馬淵 秀雄 棚瀬 友啓
二重谷 伸行 古川 貴敏
豊田 正利

欠席委員 堀 武、平田 芳子、細川 大二郎

事務局 環境水道部長 河合 信 下水道課長 弘岡 敏
下水道課総括課長補佐 梶浦 要 下水道課長補佐 工藤 浩昭
下水道課主査 坂井田 剛志

説明のため出席した者

企画財政課長 早瀬 俊一

傍聴人 0名

1. 会長あいさつ

2. 前回会議録の確認

2. 審議内容

(1) 答申書提出

(事務局弘岡) 今日は答申を頂くということで、最後の会でございます、よろしく
お願い申し上げます。会長よりご挨拶頂きます。

(鈴木会長) 皆さん、こんにちは。今日はお集まり頂きましてありがとうございます。
5回に渡って議論してまいりましたが、答申もまとまって来ま
したので、今日で最後の審議会としたいと思います、よろしくお願
いします。

(事務局弘岡) 本日の出席委員は14名のうち、11名で、3名の欠席でございま
す。審議会条例第6条第2項により、出席者数が過半数に達しており
ますので、この審議会が成立していることをご報告致します。

(鈴木会長) では、審議会は成立していますので、早速始めたいと思います。傍
聴の方がいらっしゃいましたら入場して貰って下さい。

(事務局弘岡) いらっしゃいません。

(鈴木会長) まず、議事録の確認をしたいと思います。何か、修正したい点、若
しくは間違っている点がありましたらお願いします。よろしいでしょ
うか、これで、第5回の議事録が承認されたとして進めたいと思いま
す。続きまして、今回の答申書がお手元にありますが、これについて、
最終確認したいと思います。その前に、郵送頂いた答申と一部語句が
変わったと聞きましたが、どこでしょうか、説明願います。

(事務局工藤) 主な修正箇所を説明します。表紙の答申の所で、記の下の所「1、
今後の瑞穂市汚水処理計画の策定等について」の最初の説明が主語、
述語の関係がおかしかったので並び替えました。内容については変わ
っていません。替えた箇所を読み上げます。「瑞穂市の河川や水路は、

水質調査の結果などから汚濁傾向にあり、生活排水等の未処理が主な原因だと考えられる。市内の約8割の地域では下水道が整備されておらず、汚水処理施設整備が個人に対する浄化槽の補助制度だけであるため、既存住宅等の汚水処理の改善が進んでいない。」と主語をまとめて、順番を替えました。あと、「2、供用開始処理区の水洗化向上施策について」の2行目、「早期に」を「早急に」に替えました。計画の方で「早期に」という言葉を使っていますので、「早期に」と「早急に」の使い分けをするために、計画以上に水洗化の向上を急がなければならないということで「早急に」という表現に変えています。5頁の上から4行目の所、「ピークを迎え、実質公債費率は平成19年度の3.6%を算定基準にすると、8.6%押し上げ、12.2%になることが想定される。」も、主語と述語を入れ替えています。他は大きくは変わっていないと思います。それと、一番最後に委員名簿を付けていますが、皆さんにお渡ししているのには、生年月日と住所が入っていますが、ホームページで公表するものは、生年月日と大字以降の地番については、抜いて公表致します。個人情報是非公開ということにします。以上です。

- (鈴木会長) ありがとうございます。今の修正で、何かご意見ございますか。よろしいでしょうか。
- (委員全員) 意見なし。
- (鈴木会長) ホームページで公開するということで、名簿も公開して頂きますが、生年月日と細かい住所は省く訳ですね。備考はどうでしょうか。
- (事務局工藤) 昨年度の名簿には付いたままでしたが、消すということなら出来ます。
- (鈴木会長) 皆様、どうでしょうか。よろしいでしょうか。では、備考を付けて公表したいと思います。あと、他にここで、連絡、打ち合わせすることございますか。よろしいでしょうか、では、ここで議論する内容はこれで終わりましたので、第6回の審議会を終了したいと思います。では、これから答申書の提出を行います。
- (事務局河合) 審議会が終わりましたので、環境水道部を代表して、一言ご挨拶申し上げます。本日を入れて6回の慎重な審議をして頂き、汚水処理計画について貴重なご意見を賜り、ありがとうございました。お陰様で、答申を作ることが出来ました。今後は、この答申を受けて、議会の方とも十分議論を致しまして、なんとか、汚水処理計画が立てられる様に頑張っていきたいと思っております。大変ありがとうございました。お世話になりました。
- ～市長入場～
- (事務局弘岡) それでは、瑞穂市の上下水道事業審議会の答申を鈴木会長から頂きます。よろしくお願ひします。
- (鈴木会長) では、表紙を読み上げさせていただきます。
- ～答申読み上げ～
- 以上でございます。なお、答申内容につきましては、1頁以降に添付してあります。よろしくお願ひします。
- (市長) ありがとうございます。私から一言お礼を述べさせていただきます。瑞穂市上下水道事業審議会の皆様方におかれましては、6回に渡って会議を開いて頂き、この度、ご答申を頂き誠にありがとうございます。私どもはこの答申を真摯に受け止めまして、精査させて頂

き、十分に協議を致しまして、瑞穂市の水環境整備の方向付けをしてまいりたいと思っております。これまでのご努力に対しまして、重ねてお礼を申し上げて、ご挨拶とさせて頂きたいと思っております。本当に皆さん、ありがとうございました。

(鈴木会長) ここに至るまで事務局の方からかなりの資料を出して頂きました。財政の問題、人の問題、将来人口の問題等、本当に検討事項が多かったです。

(棚橋委員) 色々な委員会に出ましたが、ここは本当に密度が濃いです。

(鈴木会長) 皆さん、よくご存知の方が多かったですから。とても専門的に出来ました。

(棚橋委員) 丁度、経済危機と同時期でしたので、第1回から第6回までの間でもすごく経済の状況が変わってきました。河合委員が良い所で提言されましたし、足元から見直してみることが出来ました。

(鈴木会長) いつも2時間で足りなくて、時間オーバーしていました。皆様から感想とかございますか。

(河合委員) この後の事務的な手続きはどうなるのですか。

(事務局河合) 3月の議会が始まっていませんので、詳しいことは申し上げられませんが、流れとしましては、答申を受けて、執行部で、先程市長が申し上げましたが、もう一度精査し、出来れば次年度に汚水処理計画を立てて行きたい。それを議会に具体的に提示して、議論していきたいと考えております。それから、3処理区の水洗化向上については、答申にも有りました様に、職員がまた訪問していきたいと考えています。それと、先日、西処理区の自治会長さんに集まって頂いて、もう一度、下水道推進の組織を作ってはどうかと提言しました。3月に各自治会の総会がそれぞれありますので、接続PRのチラシを配布して、現在の状況とか、接続のお願いとかをして行こうと思っています。

(事務局梶浦) あと、融資あっ旋制度の見直しは、今年中に細かく打ち出して行こうと思っていますし、それには予算も伴ってきますので、当然議会とも協議していきます。

(棚橋委員) 議会でも、このことに対しては、協議することを待っていました。当然公開出来ない部分もありますから、答申書が出るまで待って下さい、ということになっていました。

二重谷委員、古川委員の言われた様に、答申を出したから良い、ということではなく、これから合併浄化槽の機能がどれだけ向上するかとか、梶浦総括課長補佐が研究されているEM菌なんかでも、これからどういう風になって行くのかなども同時進行で、研究して行かなければならないと思いました。答申が最終的なものではなく、常に備わる横の部分が成長しているので、それらを見て、良い研究をしないといけないとつくづく思います。

(事務局弘岡) では、本日は皆さん、ありがとうございました。これで終了したいと思います。